

使用材料

- ・胴縁：JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」(SGH400 相当)
- ・縦棧：JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」(STK400)
- ・支柱：JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」(STK400)
- ・自在ブラケット：JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」(SGH400)
- ・ボルト, ナット, 座金：JIS B 1180「六角ボルト」, JIS B 1181「六角ナット」の規格と準拠
JIS B 1256「平座金」並丸

塗装色

ホワイトを基本色とし、その他ダークブラウン、グレーベージュを候補色としています。

「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」推奨色



名称
ホワイト (白色)

JFE 建材記号及び呼び名
JW(呼び名: ホワイト)
専用キャップ付属



名称
ダークブラウン (こげ茶色)

JFE 建材記号及び呼び名
GDB(呼び名: G ブラウン)
専用キャップ付属



名称
グレーベージュ (薄灰茶色)

JFE 建材記号及び呼び名
GGB(呼び名: G ベージュ)
専用キャップ付属



※商品の色は、印刷のため実際の商品と多少異なる場合がありますのでご了承ください。
※その他の色についても対応可能(専用キャップを除く)ですのご相談ください。

JFE 建材 株式会社

<http://www.jfe-kenzai.co.jp/>

本 社 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70 (品川シーズンテラス 11F)

道路商品営業部

TEL. 03 (5715) 7600 FAX. 03 (5460) 3233

道路・鉄道プロジェクト営業部

TEL. 03 (5715) 7680 FAX. 03 (5460) 3233

北海道支店 〒060-0806

札幌市北区北六条西 1-4-2(ファーストプラザビル)

TEL. 011 (708)6411 FAX. 011 (728) 4675

東北支店 〒980-0811

仙台市青葉区一番町 4-1-25(東二番丁スクエア)

TEL. 022(266)3070 FAX. 022 (223)3060

新潟支店 〒950-0087

新潟市中央区東大通 1-2-23(北陸ビル)

TEL. 025(246)3233 FAX. 025 (246)3255

名古屋支店 〒460-0003

名古屋市中区錦 1-7-19(名古屋岡本ビル)

TEL. 052(204)5707 FAX. 052 (204)1611

北陸支店 〒930-0004

富山市桜橋通り 2-25(第一生命ビル)

TEL. 076(441)1462 FAX. 076 (432)2384

大阪支店 〒550-0002

大阪市西区江戸堀 1-9-1(肥後橋センタービル)

TEL. 06(6444)7631 FAX. 06 (6444)7633

中国支店 〒730-0036

広島市中区袋町 4-21(広島フコク生命ビル)

TEL. 082(248)7303 FAX. 082 (248)3141

四国支店 〒760-0023

高松市寿町 1-3-2(高松第一生命ビル)

TEL. 087(821)5548 FAX. 087 (821)5540

九州支店 〒812-0025

福岡市博多区店屋町 1-35(博多三井ビルディング 2号館)

TEL. 092(263)1561 FAX. 092 (263)1475

北東北営業所 〒020-0034

盛岡市盛岡駅前通 15-19(盛岡フコク生命ビル)

TEL. 019(629)2250 FAX. 019 (651)8780

沖縄営業所 〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地 3-21-1(國場ビル 11F)

TEL. 054(653)6511 FAX. 054 (273)3701

より安全なご使用を願って

本カタログに掲載されている内容は情報提供を目的としたもので、誤った使用または不適切な使用などによって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

また、掲載される情報・仕様等につきましては予告なしで変更する場合があります。最新情報につきましてはお問い合わせください。

JFE セーフティフェンス 勾配平面自在対応型

設置現場の細かな調査が不要です

JT3

パネル仮置で施工性向上



NETIS番号: KT-180129-A
新技術名称: 自在縦格子柵 JT3



JFE 建材 株式会社

特長

1 高強度材使用により業界最軽量を達成

- ・安全性を備えた軽量構造を実現しました。
- ・パネルは片手で持ち上げられる程の軽さです。
- ・横持ち作業性の向上、施工負荷の軽減が期待できます。

反射キャップを標準装備！

ワンタッチで
取り付け可能。



2 パネル仮置き可能

- ・新ブラケット採用により、レベル部・勾配部を通しパネルの仮置きが可能です。

3 支柱キャップはブラケットと一体化（大ボルトレス）

- ・キャップ付きブラケットは支柱に自立、取り付け時に大ボルトが不要です。
- ・建柱後取付けなので、キャップの変形・打痕の懸念を解消します。

4 ブラケットは仮固定可能（大ボルトレス）

- ・下段ブラケットは、ツメ加工により任意の位置で自由に位置決めが可能です。
- ・ブラケットの仮固定により両手が使え、施工スピードのアップが期待できます。

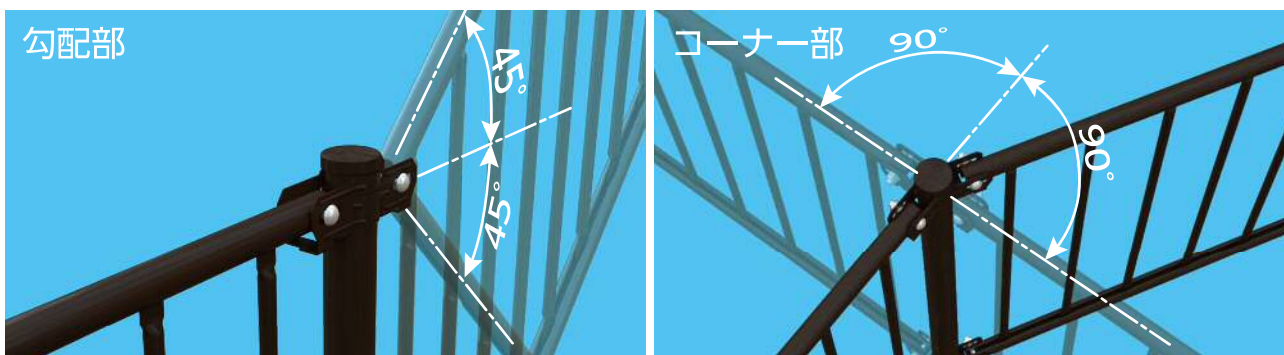
5 共通部材によるオールフレキシブル構造

- ・レベル部、勾配部を通し、部材は全て共通仕様で施工が可能です。
- ・縦断勾配 (0 ~ 100%) ・平面折れ角度 (0° ~ 90°)
〔例〕 階段にも使用できます。

6 その他特長（当社従来比）

- ・路外展望性の向上；パネル見付け面積 16% 低減、透過性に優れた構造です。
- ・CO2 排出量の削減；パネル重量比 35% 減、軽量化により CO2 排出量を削減。
- ・現地での端尺加工が容易；無溶接パネルにつき、現地加工が容易に行えます。

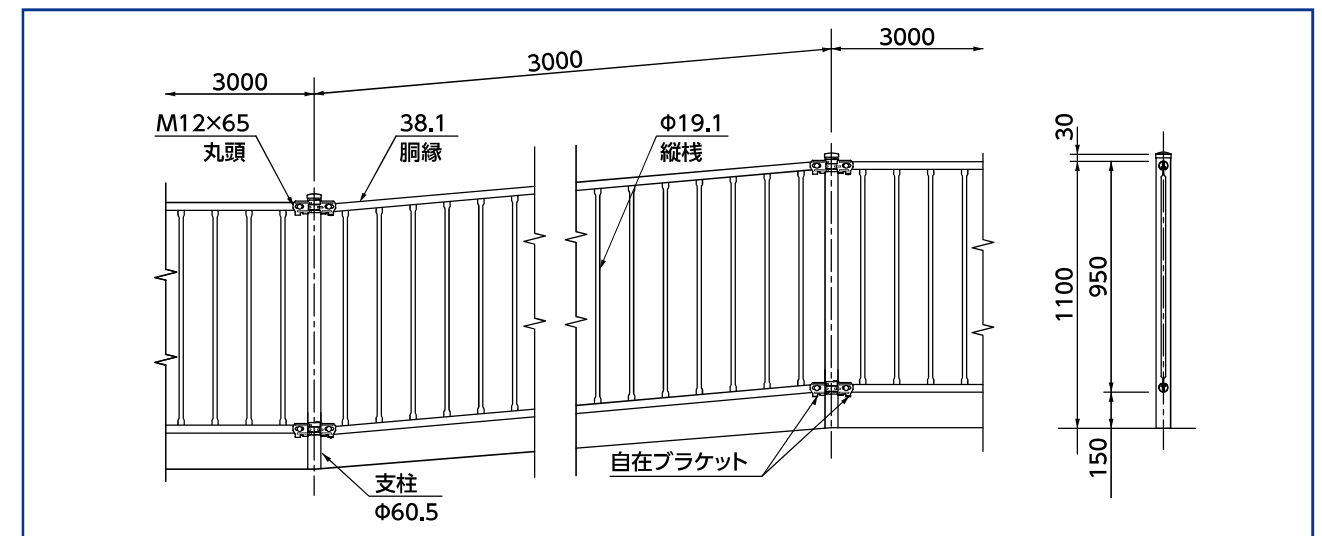
勾配・平面コーナー対応可能範囲



部材対応表

設置箇所	縦断勾配	対応パネル	平面折れ角度	対応ブラケット
Level 部	0% ~ 100%	自在パネル	0° ~ ±90°	自在ブラケット
勾配部				

構造図



安全性の確認（防護柵の設置基準・同解説準拠）

載荷重実験・衝撃実験により、構造の安全性を確認



載荷実験状況（鉛直：590N/m）

載荷実験状況（水平：390N/m）

衝撃実験状況（水平：質量 60kg、速度 20km/h）

載荷実験：各部材にゆりみ、はずれが無い事また、有害な変形が生じない事を確認

衝撃実験：部材の破断や飛散が無い事また、衝突物体が柵を突破しない事を確認

「防護柵の設置基準・同解説」の必要性能を満足

実績例（歩道、河川、水路、傾斜地等で採用）

